

通所リハビリテーション
短期入所生活介護
短期入所療養介護
特定施設入居者生活介護
福祉用具貸与・特定福祉用具販売
居宅介護支援
夜間対応型訪問介護
認知症対応型通所介護
小規模多機能型居宅介護
認知症対応型共同生活介護
地域密着型特定施設入居者生活介護
地域密着型介護老人福祉施設
介護老人福祉施設
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
介護保険以外のサービス
その他 具体的に:()

あなたが以前働いていた介護事業所では、あなたはお仕事でどのような業務を担当されていましたか。全体を100%としたときに、次の4つの業務がそれぞれどのくらいになるか、その割合を「整数」で入力してください。担当されていない業務は「0」としてください。

(回答は半角数字で入力)

身体介護()%
生活介護()%
管理・デスクワーク()%
その他()%

あなたが以前働いていた介護事業所でのあなたの職種は次のどちらでしたか。

(回答は1つ)

正規職員
非正規職員

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所では、あなたの勤務形態はどのように定められていましたか。

(回答は1つ)

常勤労働者(事業所の定める勤務時間全てを勤務する)

短時間労働者(パートタイム)

(1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に定まっている)

短時間労働者(パートタイム)

(月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により非定型的に特定される(登録ヘルパー等))

その他(急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している)

あなたが以前働いていた介護事業所でのあなたの職位は何でしたか。

(回答は1つ)

(注)ここでいう管理職とは、例えばサービス提供責任者等のことで、主任・(サブ)リーダーなどを介護の現場で統括している者をいいます。

管理職

主任・(サブ)リーダーなどの職場のまとめ役

その他

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所での労働時間は、1日あたり何時間でしたか。残業時間も含めた平均的な労働時間をお答えください。(お昼休みなどの休憩時間も含めてください。)

(回答は半角数字で入力)

※1時間未満の方は時間に0と入力してください。

1日に()時間()分

あなたが以前働いていた介護事業所での残業時間は1週間に何時間くらいありましたか。

(回答は半角数字で入力)

※1時間未満の方は時間に0と入力してください。

賃金が出る残業時間 1週間に()時間()分

賃金が出ない残業時間 1週間に()時間()分

あなたが以前働いていた介護事業所までの通勤時間は、片道でどのくらいかかりましたか。

(回答は半角数字で入力)

片道()分

あなたが以前働いていた介護事業所での、勤務日数は1週間あたり平均何日でしたか。

(回答は半角数字で入力)

1週間に平均()日

あなたが以前働いていた介護事業所では、あなたの仕事の給与はどのように決められていましたか。

(回答は1つ)

月給

週給

日給

時給

その他 具体的に:()

<< 13ページ終了 >>

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所では、あなたの時給(週休、日給)はいくらでしたか。また、あなたご自身が考える、そのお仕事の妥当な時給(週休、日給)はいくら位でしたか。

(回答は半角数字で入力)

実際の額 時給(週給、日給)税込()円

妥当と考える額 時給(週給、日給)税込()円

<< 14ページ終了 >>

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所では、1か月間でいくぐらいこの仕事から収入を得ましたか。また、行った仕事に対しては、どの位の収入を得られるのが妥当だったと考えますか。

(回答は半角数字で入力)

実際の額 月額税込()円

妥当と考える額 月額税込()円

引続き以前働いていた介護事業所でのお仕事についてお伺いします。

(現在お勤めの事業所の前に複数個所にお勤めした経験がある方は、過去にお勤めだった中で一番、最後に働いていた事業所についてお答えください。)

あなたが以前働いていた介護事業所を辞めた理由は次のどれですか。あてはまるものすべてをお選びください。

(回答はいくつでも)

人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため

他に良い仕事・職場があったため

収入が少なかったため

自分の将来の見込みが立たなかったため

自分に向かない仕事だったため

職場の人間関係に問題があったため

介護者およびその家族との人間関係に問題があったため

法人や施設・事業所の理念や運営に問題があったため

家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため

定年・雇用契約の満了のため

ご自身の病気・高齢のため

結婚・妊娠・出産・育児のため

家族の介護・看護のため

その他 具体的に:()

特に理由はない

<< 15ページ終了 >>

昨年1年間(2011年1月1日～12月31日)のあなたの収入(税込み)をお答えください。

(回答は1つ)

※賞与及び残業・諸手当等を含みます。

500万円未満

0円(昨年は働いていなかった)

1円～50万円未満

50万円～100万円未満
100万円～150万円未満
150万円～200万円未満
200万円～250万円未満
250万円～300万円未満
300万円～350万円未満
350万円～400万円未満
400万円～450万円未満
450万円～500万円未満
500万円以上
500万円～550万円未満
550万円～600万円未満
600万円～650万円未満
650万円～700万円未満
700万円～750万円未満
750万円～800万円未満
800万円～850万円未満
850万円～900万円未満
900万円～950万円未満
950万円～1000万円未満
1000万円以上
1000万円～1100万円未満
1100万円～1200万円未満
1200万円～1300万円未満
1300万円～1400万円未満
1400万円～1500万円未満
1500万円以上
1500万円～1600万円未満
1600万円～1700万円未満
1700万円～1800万円未満
1800万円～1900万円未満
1900万円～2000万円未満
2000万円以上

答えたくない

昨年1年間(2011年1月1日～12月31日)の、世帯年収(税込み)についてお答えください。あなたご自身の収入も含めてください。一人暮らしの方は前問と同じ額をご記入ください。

(回答は1つ)

※賞与及び残業・諸手当等を含みます。

500万円未満

0円(昨年は働いていなかった)

1円～50万円未満

50万円～100万円未満

100万円～150万円未満

150万円～200万円未満

200万円～250万円未満

250万円～300万円未満

300万円～350万円未満

350万円～400万円未満

400万円～450万円未満

450万円～500万円未満

500万円以上

500万円～550万円未満

550万円～600万円未満

600万円～650万円未満

650万円～700万円未満

700万円～750万円未満

750万円～800万円未満

800万円～850万円未満

850万円～900万円未満

900万円～950万円未満

950万円～1000万円未満

1000万円以上

1000万円～1100万円未満

1100万円～1200万円未満

1200万円～1300万円未満

1300万円～1400万円未満

1400万円～1500万円未満

1500万円以上

1500万円～1600万円未満

1600万円～1700万円未満

1700万円～1800万円未満

1800万円～1900万円未満

1900万円～2000万円未満

2000万円以上

答えたくない

<< 16ページ終了 >>

あなたが働いている事業所では、次の取組みがどのくらい行われていますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

介護職員(派遣を含む)の増員
給与(賃金)の引き上げ
働きぶりや能力に応じた給与(賃金)の評価
夜勤や土日・祝日勤務の日数の適正化・見直し
有給休暇を取得しやすい職場環境の整備
非正規職員から正規職員への転換機会の確保
作業負担軽減(腰痛予防など)のための介護福祉機器の導入

事務作業(書類作成など)の軽減・効率化
介護能力向上のための研修費用の補助
職場の人間関係に関する相談への対応・支援
仕事内容やキャリアに関して上司と相談する機会の設定
子育て支援体制(託児所の設置など)の整備
十分に行われている
行われているが、不十分である
行われていない
わからない

<< 17ページ終了 >>

あなたが以前働いていた事業所では、次の取組みがどのくらい行われていましたか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

介護職員(派遣を含む)の増員
給与(賃金)の引き上げ
働きぶりや能力に応じた給与(賃金)の評価
夜勤や土日・祝日勤務の日数の適正化・見直し
有給休暇を取得しやすい職場環境の整備
非正規職員から正規職員への転換機会の確保
作業負担軽減(腰痛予防など)のための介護福祉機器の導入

事務作業(書類作成など)の軽減・効率化
介護能力向上のための研修費用の補助
職場の人間関係に関する相談への対応・支援
仕事内容やキャリアに関して上司と相談する機会の設定
子育て支援体制(託児所の設置など)の整備
十分に行われていた
行われていたが、不十分であった
行われていなかった
わからない

<< 18ページ終了 >>

あなたは、介護関係のお仕事(介護業界)で再び働く意思はありますか。

(回答は1つ)

ある
条件や状況次第
ない
わからない、現時点では考えたことがない

<< 19ページ終了 >>

介護関係のお仕事を選ぶ、あるいは働くのに必要な条件とは具体的にどのようなものですか。

(回答はいくつでも)

賃金やボーナスなどの給与面
労働時間の長さや勤務シフトが柔軟に選べること
業務負担(責任)が重くないこと
正規の職員であること
自宅から通いやすいこと
けがや病気などが回復すること
子どもが、ある程度大きくなること
家庭の都合がつけば
その他 具体的に:()

<< 20ページ終了 >>

前問でお選びいただいた条件のうち、最も必要な条件をお答えください。

(回答は1つ)

賃金やボーナスなどの給与面
労働時間の長さや勤務シフトが柔軟に選べること
業務負担(責任)が重くないこと
正規の職員であること
自宅から通いやすいこと
けがや病気などが回復すること
子どもが、ある程度大きくなること
家庭の都合がつけば

その他 具体的に:()

<< 21ページ終了 >>

今後、介護関係のお仕事で働く意思がないのはなぜですか。

(回答はいくつでも)

給与や福利厚生面で不満だから
働く時間が長く、時間的に厳しいから
業務負担(責任)が重いから
介護の仕事に興味や、やりがいを感じなくなったから
正規の職員として採用される見込みが低いから
けがや病気のため、介護の仕事は大変だから
年齢的に仕事を引退する時期だから
自分の適性や能力に限界を感じているから
経済的に自分が働く必要がないから
子どもの子育てを優先したいから
家庭の都合(介護や家族の理解など)
今の仕事に満足しているから
その他 具体的に:()

<< 22ページ終了 >>

前問でお選びいただいた理由のうち、最もあてはまる理由をお答えください。

(回答は1つ)

給与や福利厚生面で不満だから
働く時間が長く、時間的に厳しいから
業務負担(責任)が重いから
介護の仕事に興味や、やりがいを感じなくなったから
正規の職員として採用される見込みが低いから
けがや病気のため、介護の仕事は大変だから
年齢的に仕事を引退する時期だから
自分の適性や能力に限界を感じているから
経済的に自分が働く必要がないから
子どもの子育てを優先したいから
家庭の都合(介護や家族の理解など)
今の仕事に満足しているから
その他 具体的に:()

<< 23ページ終了 >>

介護にかかわる職員の待遇がよくなるにはどのような待遇改善があるとよいと思いますか。重要だと思う改善策の1位、2位まで選択してください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

職員給与の引き上げ
ボーナスなど賞与の引き上げ
労働時間の短縮
休暇(有給休暇)がとりやすくなること
勤務経験・勤務年数に応じて昇進ができること
非正規職員も仕事量・経験に対応して正規職員になれること

退職金・職域年金の充実
夜勤や土日・祝日勤務の見直し
子育て支援体制(託児所の設置、短時間労働など)の整備
職場の人間関係に関する対応
その他(具体的に)

1位 ()
2位 ()

<< 24ページ終了 >>

仕事の条件として、賃金面はどのぐらい重要ですか。やりがいや職場環境など、さまざまな条件全体を100%としたとき、賃金が占める割合をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

()%

<< 25ページ終了 >>

あなたの現在のお仕事の負担が1割増えた場合、1時間当たりの賃金が、最低、何割上がれば現在のお仕事を続けますか。

(回答は1つ)

□□%上がれば、現在の仕事を続ける(数字を入力) % ()

このままの賃金でも続ける
具体的な数字はわからないが、わずかでも上がればよい
あなたの現在のお仕事の負担と給与を100%としたとき、お仕事の負担と給与がどのような関係であれば、現在のお仕事を続けますか。

(回答は1つ)

労働時間90%、給与90%
労働時間90%、給与100%

労働時間100%、給与100%
労働時間110%、給与100%
労働時間110%、給与110%
労働時間110%、給与120%

<< 26ページ終了 >>

介護に関わる職員の待遇改善の一例として、介護報酬制度で介護職員の給与水準を改定することがあります。この制度で、平成24年4月から給与を月額1万5千円程度引き上げる「処遇改善加算」ができることになりました。

介護に関わるお仕事をしていらっしゃる立場から、この加算はどのように評価できますか。

(回答は1つ)
十分だと思う
十分ではないが、収入が増えるので助かる
十分ではないが、この制度で介護制度が続いて将来昇進できればこれでよい
十分ではなくもう少し多い方がよい
まったく不十分

<< 27ページ終了 >>

いくらぐらい加算されればよいですか。

(回答は半角数字で入力)
()万()千円程度

<< 28ページ終了 >>

次のようなことはどのぐらいありますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)
現在の仕事にやりがいを感じる
現在の職場を辞めたいと思うこと
一緒に働く職場の人間関係に悩むこと
いまの仕事につけて良かったと思うこと
家庭(プライベート)と仕事の両立に悩むこと
よくある
たまにある
どちらともいえない
あまりない
まったくない

あなたは次のようなときに、やりがいを感じますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)
介護をしている相手の人から感謝されるとき
介護をしている相手の家族から感謝されるとき
介護をしている相手の人の健康や日常生活がよくなったと思うとき

自分の介護の仕事の経験や知識が同僚にも役立つとき
自分の介護の仕事が職場で(例えば上司・管理者に)認められるとき

自分の職場の介護活動が地域の人々に理解され喜ばれるとき

感じる
まあ感じる
どちらともいえない
あまり感じない
感じない

介護の仕事が負担に思うときはどのようなときですか。

(回答はいくつでも)

介護をしている相手の方が亡くなることなど、悲しい出来事に責任を感じる
介護をしている利用者の1人1人の特徴に気をつけて、仕事をしなければいけないとき
利用者だけでなくその家族からの要望や苦情も考慮して仕事をしなければいけないとき
介護をしている利用者の健康状態が変わると、予定以外の仕事もしなければならなくなる
介護職員数が十分ではなく、仕事の量が多くならざるをえないとき
その他 具体的に:()

<< 29ページ終了 >>

ご自身の経験を踏まえて、今後、介護の仕事に就職や転職を希望している人(例えば、出身校の後輩や友人・知人など)に、「介護の仕事はどのようなものだ」と伝えますか。

(回答はいくつでも)
要介護の利用者から必要とされるやりがいのある仕事
労働時間が長く体力的に大変な仕事
給料やボーナスが必ずしも十分ではない仕事
年齢が上がっても勤続年数が長くなっても給与がなかなか上がらない仕事

昇進の機会が少ない仕事
経験を積めば専門職者として評価される仕事
その他 具体的に:()

<< 30ページ終了 >>

介護職の待遇と社会保障の負担とはどのような関係がよいと思いますか。

(回答は1つ)

介護に関わる職員の待遇がもっと良くなるように、介護の財源を例えば消費税のような税金で増やして、国民全体で負担するのがよい

介護に関わる職員の待遇がもっと良くなるように、介護の財源を例えば介護保険料のような社会保険料を増やして、現役世代で負担するのがよい

介護に関わる職員の待遇がもっと良くなるように、介護の財源を例えば介護利用者の負担を増やして、介護サービスを受ける人たちが負担するのがよい

介護に関わる職員の待遇がもっと良くなるように、当面の間は国が財政赤字を出して、その後に国民全体で負担するのがよい

介護に関わる職員の待遇は現状のままでも良いので、国民全体の社会保障負担が少ない方がよい

特に意見はない
わからない

<< 31ページ終了 >>

介護のお仕事や職場、介護業界について思うことを、ご自由にご記入ください。

(回答は具体的に)

()

<< 32ページ終了 >>

